

西部ミルク会

4/2 西部事業所

総会開催 サルビア配布で環境美化へ



環境が予想されますが、会員とともに団結して頑張りましょう」と挨拶した。

上程議案は全て承認され、総会記念品として竹ぼうき五本と、六月にはサルビアを配布し、環境美化に励み消費者へのアピールを図る事とした。その後、隅屋寒三専務(広酪)は「飼料高騰等、酪農情勢は益々厳しい状況にあり、西部管内の廃業者も多く、生乳生産も前年対比を下回り、活性化の費用も見直さなければならぬ状況下である。広酪としても金銭面では下がるが、その他の支援でしっかり組合員の要望に応えた」と述べた。



広酪西部ミルク会(砂子靖子会長)は総会を開

催し、会員他十五名が参加した。砂子会長は「安倍首相はTPP参加を表明し、今後、厳しい酪農

甲奴郡酪農女性部

4/3 東部事業所

厳しい時だからこそ楽しく！ 24年度総会開催

甲奴郡酪農女性部は12名が出席して、第47回総会を開催した。総会では平成24年度事業報告並びに決算報告、平成25年度事業計画及び予算案を可決承認した。

役員改選にあたっては、部長、副部長共に留任とし、溝辺博子部長は挨拶で「昨年は身体の調子の悪い人や、家族の傷病等であまり活動が出来ませんでした。今年は飼料高騰等で厳しい状況だからこそ、みんなで楽しく頑張って行きましょう」と述べた。

その後、出席者全員で会食をとりながらの会話ははずみ、終始、笑いの中で時間を過ごした。記念品に、「牛乳・乳製品の消費拡大運動」の牛乳とチーズ、「花いっぱい美化運動」のしゃくなげの鉢植えを全戸に配布した。



甲奴郡酪農組合

4/23 甲奴管内

役員による暑熱対策 「バルククーラー」 ラジエーターの清掃巡回

甲奴郡酪農組合(伊達薫組合長, 組合員20戸)では、役員7名が3班に分かれ組合員を戸別巡回し、コンプレッサーを用いて「バルククーラー」ラジエーターの清掃に従事した。当日は、PLテストの配布も行い、より一層の乳質改善への意識向上を呼びかけられた。同組合によるバルククーラーの清掃巡回は、毎年恒例の行事として定着している。

上下町酪農組合

4/16 東部事業所

新会長に角康晴氏 総会開催

上下町酪農組合(伊達公一組合長、会員十一名)は、会員八名が出席して平成二十四年度総会を開催した。上程議案は全て承認され、平成二十五年度計画では、優秀精液配布事業を中心に牛群向上と乳質向上事業を行い、役員改選では新組合長に角康晴氏を選んだ。



新会長に 砂子拓也さんを選任 総会開催

西部酪酪会総会(井上正芳会長)は、14名が参加して総会と花見会を開催した。上程議事は平成23年度と平成24年度事業報告・収支決算、平成25年度事業計画・収支予算、会費の徴収で、全て承認した。

また、役員改選議案では、会長に砂子拓也さん、副会長に吉川栄樹さん、監事に小野正行さんが新しく選任され、これからの酪酪会を牽引する意気込みが述べられた。

総会終了後は花見会に入り、気の合う仲間として、これからの酪酪を熱く語り合っていた……。終宴時には、参加者揃っての写真撮影に満面の笑顔で応じられた。この笑顔から日頃のストレスが発散されたように感じられた。

北広島町酪酪農団体連絡協議会(東方田忍会長)は、西部事業所前の満開の桜の下で、会員家族や関係団体から76名が参加して盛大に花見会・交流会を開催した。東方田忍会長は、「国はTPP参加を表明し、先行きが見えない不安な状況下にある。また、円安の状況から飼料価格が高騰し酪酪情勢は大変厳しく乳価値上げに向けてしっかりした交渉をお願いしたい」と挨拶した。来賓の箕野博司北広島町長は、日頃の町政への感謝と、「今後も酪酪農業を支援するので、ともに頑張ろう」と激励の言葉を述べられた。



この交流会では、恒例としてNOSAI山県家畜診療所の歓送迎会を兼ねた行事とされ、西部農業共済組合の新しいメンバーも紹介された。参加者は日頃の作業や乳質等の話題で会話が弾み、充実した一日を過ごされた。

総会と花見会

あきたかた酪酪振興会(泉秀利会長)は、総会と花見会を開催した。総会では平成24年度事業報告・収支決算、平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)を上程し、全議案とも原案どおり可決承認された。

事業計画には、夏場の防疫対策として補虫剤の共同購入が提案され承認された。

泉会長は「飼料高騰等で酪酪家は瀕死の状態である。ぜひ乳価値上げの交渉を(十円以上)と来賓出席の広酪の隅屋専務にお願いしたい」と述べ、安芸高田市の市議会議員からは「酪酪家は本当に大変。行政としても何か良い方策はないか・・・と考えており、特に粗飼料の高騰を考える際、耕畜連携でWCS(ホールクロップサイレージ)に取り組む事も一案。ぜひ前向きに検討されては・・・」と提案された。

花見会では事務所裏の満開の桜の下で、会員家族や関係団体から二十八名が参加し、隅屋三専務(広酪)は、最近の酪酪情勢を含め、「特に乳価交渉は関係団体が一体となって交渉にあたり実現しなければ、この窮状からの打開はない」と挨拶した。

交流会では四月の人事異動により赴任されたNOSAI広島家畜診療所の中谷氏・国重氏、共済組合の川上氏が紹介された。肌寒い一日ではあったが賑やかで、和やかな一時を皆で過ごした。

哺育育成の

上手な管理を学ぶ

育成は酪農の貯金!?



三原市酪農女性

部(岡田吹子部長)

は、会員から「どんなことを学びたいか」の意見を聞き、哺育や育成を上手に育てる勉強会をすることとした。

講師には市川所長(全酪連三次駐在員事務所)を招き、出生直後の管理からへその緒の処理、消毒、出生当日の初

乳給与や初乳の有効な冷凍保存の仕方等の説明を聞いた。参加者らは日常の自分のやり方との比較やユーモアのある質問を行っていた。

また、後継牛となる育成牛管理から、高い生産性と収益性が将来に及ぶとあって、育成牛への投資は酪農家の貯金であり、子育てを担当するお母さん方の手腕にかかっていることから出席者の目は真剣であった。

会長らの留任を決定 関係機関団体との意見交換

庄原地域酪農振興会(林 智行会長、会員 16名)は会員ら 29名(内会員出席 13名)が参加して、総会を開催した。上程議案は、平成 24 年度の事業報告及び収支決算、平成 25 年度の事業計画(案)及び収支予算(案)、役員選任議案を全て可決承認した。役員選任にあたっては、林智行会長、前谷重夫副会長、市川道博会計、大田昌晴監事、赤木靖事務局の留任と、新たに堀内宏志氏の監事選任を決定した。総会にあたって、広略からは配合飼料価格の高騰による乳価復元の必要性、広島県北部畜産事務所からは飼養衛生管理基準の遵守状況、巡回指導実績、庄原市からは酪農支援事業の継続実施等の情勢報告が行われた。総会後はこれらの話題を含めた懇親会を行い、今後の酪農経営の向上に向けた貴重な意見交換の場となった。



新部長に

山本雅陳さん

西部楽酪会を迎え ての交流会を計画

東部管内青年部(内海利彦部長)は、会員十二名が参加して発足から二回目となる総会を開催した。これには今年度から中国四国酪農大学を卒業し、後継者として就農した河上大樹君も新規会員として加わった。

昨年は行事を重ねる毎に会員の交流も深まり、西部楽酪会との他地域交流会も実現し、二十五年では逆に西部楽酪会を招いての交流会を計画し、これらの研修会や親睦会等には担当を決めて事業を行うことをまとめた。

役員改選では、新部長に山本雅陳さん、副部長に岡田健夫さんが選出された。